

スタンドの群衆



若い力

高らかに 国体の前奏曲

の讃歌

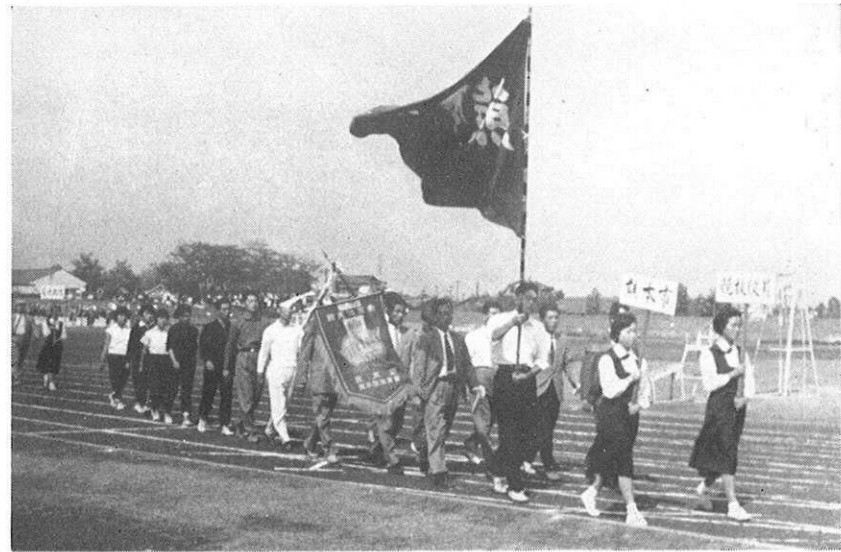
来年に迫った第十五回国民体育祭熊本大会を前にそのテレストケースとして期待された今年の県民体育祭は、盛り上がる県民の意欲をバツクに若人の意気物をこく事終了した

5.23~24 水前寺競技場



力あふるる競技

優勝した熊本市チーム



メツセージおくる寺本知事

3日に1人死ぬ(県)



先ず次の表をみて下さい
 昨年中の交通事故 全国一六八、〇〇〇件
 死者 八、二四八
 負傷 一四五、〇〇〇
 熊本県 二、一八七件
 死者 二、〇一九
 負傷 二、〇九九
 どうです、全国では毎日二十三人、県でも三日に一人ぐらゐるに死んでおられるのです。ピツクピツクすね。それ病の床で死んで

だのとはなく、今まで元気がつた人が血だらけのムザンな死体となつてです。
 当人の不幸はもとより親兄弟にいたても一生忘れぬ心にしてとなり、被害者次第では家の破壊ともなりかねません。かえすがえすも恐ろしいのは交通事故です。交通事故をふせぐ第一のひけつは注意です。
 注意一秒ケガ一生という標語がもつともよくこの事情をうたつています。特に車の多い町すじては、対面交通を守る

- 1、交通信号に従う
 - 2、横切の時に
 - 3、見まわす
 - 4、こどもたちに気を付ける
 - 5、自転車は正しい道を
 - 6、踏切停車の励行
 - 7、速力を出しすぎぬ
 - 8、道ばたにじやま物を出さぬ
- などをせよお互いに守りましょう。
 * 他人ごとは昨日で今日日はわがしかれ

あなたはいかが？



昭和二十六年六月七日、つまり八年前の計量法が公布された。尺貫法はい止ときまりました。「まだいい、まだいい」といつてゐるうちにいよいよメートル法完全実施となつたのが今年の元日、はやくも半年になろうとしています。デパートにいつても食品売場には一〇〇グラム

ラムいくら四〇〇グラムいくらと書いてあるし、衣料品売場では何かもメートルで計算するといつたぐあひ、いやでもおもうて、それをのみこまねば生活が不自由ということになつてきました。それはともかく困るのは土地建物や木材です。これまで農地や林野などは町反畝歩、建物には坪が使われてきましたので、土地台帳、建物台帳などのつくりかえが終るまで、(昭和四十一年三月末日)農地買収や売

買登記など、台帳に係のあるものだけは尺貫法が全部使われますがその他は全部メートル法によるねばなりません。又木材でいうと一般材、押角、耳付材、杭木、造船材、木箱仕組板などは農林物資規格の改訂がすむ昭和三十三年十二月末日まで尺貫法をみとめられます。たまた表も同様ですがとにかく早くメートル法になれましよう。
 * 負うた子にメートル法も教えられ



近年豊作がつづいて食糧難の声はやや下火になつていますが、災害もくるとたちまち米そうどうにもなりかねない日本。それといふのも日本人は昔から米の飯をたべすぎる習慣が一つの原因です。ところが日本人が珍重するほど米飯には栄養がありません。第一ビタミンがたよつて、第二カルシウムが少い、第三蛋白質が七〇%以上、第四含水分が四七〇%、第五脂肪はほん

といつたようなわけ。米飯はうまいからといつておかずは塩かたくなのようにならざるを得ない。慢性的に、神経痛、リウマチ、脚気などのものになる。来ては益々困つたものです。とくに梅雨のときは疲れの上に忙しい農家などは、ビタミンや脂肪をおぎなうために食用油をなるべく多く用いましょう。野菜類でも油でいためるとおいしくて栄養も多くなり熱量が多いから、疲労も少なくてすみ、疲労

を回復して元気が出ます。又シュールムや蛋白質の不足をおぎなうには大豆、牛乳、いりこなどが適当です。大豆を黄粉や汁にし牛乳をみそ汁や残飯にたきこむなどいろいろ工夫するとおいしくいただけます。
 * 人間も米食う虫の中に入り



口がセキ所です



もつとアブラを